

令和5年1月 斐伊川水系水質情報

令和5年1月(宍道湖10日・中海12日採水)								単位:mg/l(Chl-a: µg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
C O D	全層	3. 5	△	平 年 並 み	3. 4	△	平 年 並 み	3. 2	△	やや低い
全窒素	上層	0. 65	×	平 年 並 み	0. 37	○	良好(平年並み)	0. 82	×	やや高い
全リン	上層	0. 028	○	良好(平年並み)	0. 021	○	良 好	0. 028	○	良好(平年並み)
Chl-a	上層	9. 8	○	良 好	6. 6	△	平 年 並 み	5. 0	△	平 年 並 み
塩化物イオン	上層	5, 340	☆	かなり高い	12, 000	△	平 年 並 み	5, 880	○	やや低い
	下層	5, 600	☆	かなり高い	17, 900	×	やや高い	12, 800	△	平 年 並 み
溶存酸素	上層	12. 5		平 年 並 み	12. 0		やや高い	12. 5		平 年 並 み
	下層	12. 0		平 年 並 み	7. 0		平 年 並 み	11. 6		やや高い

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項 目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
C O D	全層	3. 7	横ばい	3. 4	横ばい	4. 4	やや下降
全窒素	上層	0. 54	やや上昇	0. 41	横ばい	0. 54	上昇
全リン	上層	0. 042	やや下降	0. 046	下降	0. 055	やや下降

宍道湖の透明度は3. 6mから3. 1mと下降したが、3ヵ月連続して非常に良好を維持。中海の透明度は先月と同様に2. 7mと横ばいで、平年並み。米子湾の透明度は2. 1mから3. 0mと上昇し、かなり良好になっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値	↑		
10年間平均値	↑	△	<平年並み>
平均値－標準偏差値	↓		ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。
	↓	○	<良好>
平均値－標準偏差値の2倍	↓		ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。
	↓		<やや低い> (塩化物イオン)
	↓	◎	<かなり良好>
平均値－標準偏差値の3倍	↓		<かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

- 前月値±標準偏差値以上、以下の変化..... 上昇、下降
 前月値±標準偏差値の1/2 以上、以下の変化・・やや上昇、やや下降、横ばい
 前月値±標準偏差値の1/2 以内の変化・・横ばい
- 注) 平均値±標準偏差値全体のおよそ68.2%
 平均値±標準偏差値の2倍・・全体のおよそ95.5%
 平均値±標準偏差値の3倍・・全体のおよそ99.7%

